JIS

カーバイト

JIS K 1901 : 2003

(2007 確認)

平成 15 年 2 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 一般化学技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	川 瀬 晃	セイコーインスツルメンツ株式会社
(委員)	齋 藤 壽	社団法人日本分析機器工業会
	角 田 欣 一	群馬大学
	中 村 陽	旭化成株式会社
	中 村 進	独立行政法人産業技術総合研究所
	中 村 洋	東京理科大学
	西 川 輝 彦	石油連盟
	西 本 右 子	神奈川大学
	槇 宏	日本プラスチック工業連盟
	松 本 潔	社団法人日本化学工業協会
	松 本 保 輔	財団法人化学物質評価研究機構
	森 嵯 功 一	社団法人日本試薬協会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 25.10.3 改正：平成 15.2.20

官 報 公 示：平成 15.2.20

原案作成協力者：カーバイド工業会

(〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町 3 丁目 3-4 共同ビル TEL 03-5294-7570)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 杉浦 賢)

審議専門委員会：一般化学技術専門委員会 (委員長 川瀬 晃)

この規格についての意見又は質問は、経済産業省産業技術環境局 標準課産業基盤標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1 丁目 3-1 E-mail : qqgcbd@meti.go.jp 又は FAX 03-3580-8625) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

まえがき

この規格は、工業標準化法に基づいて、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS K 1901 : 1983** は改正され、この規格に置き換えられる。

この規格の一部が、技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願にかかわる確認について、責任はもたない。

目 次

	ページ
1. 適用範囲	1
2. 引用規格	1
3. 種類	1
3.1 塊の大きさによる種類	1
3.2 ガス発生による種類	1
3.3 ガス中の不純物による種類	1
4. 品質	2
4.1 塊の大きさ	2
4.2 ガス発生量	2
4.3 ガス中の不純物	2
5. 試験方法	2
5.1 一般事項	2
5.2 塊の大きさ	2
5.3 ガス発生量	3
5.4 ガス中の不純物	6
6. 容器	12
7. 表示	12

カーバイド

Calcium Carbide

CaC_2 *FW* : 64.10

1. **適用範囲** この規格は、アセチレン発生に使用するカーバイドについて規定する。
2. **引用規格** 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。
 - JIS B 7411 一般用ガラス製棒状温度計
 - JIS G 3302 溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯
 - JIS K 0050 化学分析方法通則
 - JIS K 8001 試薬試験方法通則
 - JIS M 8100 粉塊混合物—サンプリング方法通則
 - JIS P 3801 ろ紙（化学分析用）
 - JIS R 3505 ガラス製体積計
 - JIS Z 8401 数値の丸め方
 - JIS Z 8801-1 試験用ふるい—第1部：金属製網ふるい
 - JIS Z 8801-2 試験用ふるい—第2部：金属製板ふるい
3. **種類**
 - 3.1 **塊の大きさによる種類** カーバイドの塊の大きさによる種類は、次の4種類とする。
 - a) 特大塊
 - b) 大塊
 - c) 中塊
 - d) 小塊
 - 3.2 **ガス発生による種類** カーバイドのガス発生量による種類は、次の3種類とする。
 - a) 1号
 - b) 2号
 - c) 3号
 - 3.3 **ガス中の不純物による種類** カーバイドから発生するガス中の不純物による種類は、次の2種類とする。
 - a) 1級
 - b) 2級